

まるごと田舎体験

10月16日、まるごと田舎体験事業推進協議会(坂井義則会長)は「まるごと田舎体験事業」を開催し、町内外から参加した4組18人が稲刈りといもほりを楽しみました。

ふるさとセンター近くの水田と畑で行われた同体験では、参加者が6月に植えた稲やさつまいもを収穫。応援にかけつけたトッパ丸と一緒に、心地よい汗をかきながら収穫の喜びを満喫しました。収穫の後には、綿あめづくりなども行われ、南関町の魅力を存分に堪能しました。

福岡県から参加した家族は「稲がザクッと切れるのが気持ちよく、どんどん上手に切れるようになって楽しかった」と話しました。



たくさん収穫できて満足げな表情を見せる参加者



稲刈りを楽しむ児童



一小5年生 稲刈り体験

10月28日、第一小学校(前田洋志校長)の5年生27人は南関米を育てようと、総合的な学習の時間で稲刈りを行いました。

自分たちで田植えを行い大きく成長した稲を、鎌を使って手際よく刈っていき、ボランティアの方や保護者の力を借りながら刈った稲を掛け干しました。

子どもたちは「鎌を使ってザクザク刈れて楽しかった。またやってみよう」と笑顔で話しました。

掛け干したお米は、自分たちで脱穀した後、米作り体験でお世話になった方々に配られます。また、児童が持ち帰って、調理で使うことも考えています。

こどもの丘保育園 稲刈り体験

10月26日、若手農業者グループ「がまだす隊」(森寿隊長)は肥猪の水田で、南関こどもの丘保育園(菅原裕園長)の年長児39人と稲刈り体験を行いました。

食育の一環として例年実施されている同体験では、がまだす隊の隊員が田植えから稲刈りまでを園児に指導。初めて稲刈りを体験する園児も隊員の熱心な指導を受けると、手際よく次々と稲を刈れるようになりました。

隊員への質問コーナーでは「なんで稲は土の中に入っているの」「お米はどうやったら大きくなるの」など園児から活発な質問が飛び出し、隊員たちが一つひとつ丁寧に疑問に答えました。

12月には同園で、収穫したもち米を使ったもちつき大会が開催される予定です。



説明をしっかりと聞いて上手に収穫できました。



小中学校へ米寄贈

10月19日、町でお米を作っている坂口知昭さん(細永)から町内の小中学校へ新米(南関産米「満月の光」)300kgが寄贈されました。

物価や食材が高騰している中、子どもたちのために何かできることはないかと、お米の寄贈を企画。坂口さんは「とれたての新米を子どもたちに食べてもらい、南関産米のおいしさを知ってほしい」と話しました。

お米を受け取った谷口教育長は「各小中学校の5年生が、田植えから収穫まで授業で体験しているため、米作りの大変さを分かっていると思う。感謝の気持ちをもって、給食で提供したい」と話しました。

寄贈されたお米(中央)▶
坂口さん(右)
谷口教育長(左)



第3弾 なんかんトッパ商品券 配布

- 事業目的
コロナ禍で物価高騰の影響を受けた生活者の負担軽減及び地域経済の活性化を目的としています。
- 商品券の交付について

商品券の額	・1,000円券×5枚つづり(額面総額5,000円分)の1セット ・対象者1人あたり、1セットを配布
配布開始日	令和4年12月1日(木)～ 世帯ごとにゆうパックで発送
商品券使用期間	商品券到着～令和5年2月28日(火)
対象者	令和4年11月1日において南関町住民基本台帳に記録されている人。



- 取扱店
商品券発送時に同封する「取扱店一覧」またはホームページでご確認ください。
- 問い合わせ先
まちづくり課 まちづくり推進係 TEL 57-8501 FAX 53-2351

令和4年度 南関町総合防災訓練

時間：8時30分から12時まで

12月11日

開催

- 総合訓練会場 南関町役場 防災広場
- 避難所訓練会場 南の関うから館
- 訓練想定 震度6強 マグニチュード7.0の地震を想定した訓練
※当日は、訓練放送を流しますので、実際の地震と間違われないうにしてください。
- 訓練内容 防災ヘリ・はしご車を使った救出訓練、倒壊家屋からの救助訓練、避難所運営訓練、救急救命訓練、消火訓練、孤立者救助訓練、炊き出し訓練
※当日、緊急出動が入った場合は内容が一部変更になる可能性があります。

☎ 総務課 消防交通係 ☎57-8500